

整理番号	HT29029	分野	地学、その他	キーワード	火山
------	---------	----	--------	-------	----

研究機関名	山形大学				
プログラム名	活性化する蔵王山:研究者の調査について行こう!				
先生(代表者)	伴 雅雄(ばん まさお)理学部・教授				
自己紹介	蔵王山や鳥海山などの火山の研究をしています。いろいろな火山に出向き、噴出物を調べたり、採取した試料を分析して、噴火の歴史や地下のマグマ溜まりを解明しています。皆さんに火山調査に同行してもらい、どのように調べるのかを体験してもらいたいと思います。多くの皆さんの参加をお待ちしています。				
開催日時・募集対象	平成29年7月30日(日)	受講対象者	小学生 (5・6年生) 中学生	募集人数	6名
集合場所・時間	山形大学理学部正面玄関入口	(集合時間)	8:00受付開始		
開催会場	山形大学理学部 住所:〒990-8560 山形県山形市小白川町 1-4-12 アクセスマップ: <a href="http://www.sci.yamagata-u.ac.jp/access/">http://www.sci.yamagata-u.ac.jp/access/</a>				
内 容					
<p>蔵王山は生きています。特に、東北地方太平洋沖地震のあとに活性化しています。火山性の地震や山頂付近の盛り上がり、火口湖:御釜の水の白濁などがみられています。要注意火山です。</p>					
		<p>今後どうなるかを考えるには、これまでにどのような噴火があったかを調べるのが大事です。このプログラムでは、蔵王山に行き、それを調べる”調査”を体験してもらいます。地層を観察して、その中の火山灰や噴石を手にとって、ルーペなどの調査道具を使って調べます。いろいろ面白いことがわかります。</p>			
スケジュール			持 ち 物		
8:00~ 8:15 受付(山形大学理学部正面玄関入口集合) 8:15~ 8:30 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明) 8:30~ 9:15 講義(蔵王山の説明)、調査の準備 9:15~11:15 蔵王山に移動:バスの中で蔵王山の説明(途中10分の休憩をはさむ) 11:15~12:00 火山灰の調査 12:00~12:45 昼食休憩 12:45~13:30 蔵王山の成り立ちを把握: 蔵王山の溶岩・火口・最新の山体の観察(10分休憩) 13:40~14:25 噴石などの1895年噴出物の調査(10分休憩) 14:35~15:45 山形大学に移動:バスの中で、観察したことのまとめ(途中10分の休憩をはさむ) 15:45~15:55 修了式(アンケート記入、未来博士号の授与) 15:55 終了・解散			山歩きに適した服装をしてください。防寒に注意。帽子、ウインドブレーカーやレインウェア類も用意してください。調査用具はこちらで用意します。		
			特 記 事 項		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し込みは先着順です。</li> <li>・保護者同伴可能です。特に小学生の場合は保護者同伴が望ましいです。</li> <li>・バスはこちらでチャーターします。</li> <li>・安全には十分注意します。</li> <li>・保険にも加入します。</li> <li>・雨天の場合はコース変更もあります。</li> </ul>		

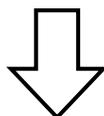
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	山形大学理学部事務室(総務担当)・清野 朱(せいの あや)
住所：	〒990-8560 山形県山形市小白川町 1-4-12
TEL 番号：	023-628-4505
FAX 番号：	023-628-4510
E-mail：	event@sci.kj.yamagata-u.ac.jp
申込締切日：	平成29年7月18日(火)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
伴雅雄	H22-24	基盤研究(C)	22540487	島弧安山岩質火山のマグマ溜り進化の高精度解析—蔵王山過去2千年間の例—
伴雅雄	H26-28	基盤研究(C)	26400509	噴火が危ぶまれる火山のマグマ供給系の現状：鳥海山の例



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。